

# コネクタソン概要

日本IHE協会 接続検証委員会  
吉村 仁

# コネクタソンとは

- \* Connectathon    Connect + Marathon
- \* IHE Technical Frameworkに規定されたトランザクションがキチンと実装されているかを確認する場
- \* 統合プロファイル・アクタ毎に定めたテストシナリオに従い接続検証を参加ベンダ主導で行う
- \* 3社以上のシステムと接続できれば大丈夫でしょう
  - \* 3インスタンスルール
- \* 「審査員」が接続を確認できれば「合格」

# コネクタソンでの「合格」とは

- \* アクタ・統合プロフィール毎に指定された一連のテストを他社の3システムと実施し、所定の検証項目をクリアしたこと
- \* 開発したベンダがIHEに関する理解と技術を持っていることを示している
- \* 合格した製品に対するIHE準拠の認証ではない
- \* 「IHE対応」を謳うことはベンダ責任で

# IHE-J 2009 コネクタソン対象分野

- \* Radiology 放射線検査
- \* Laboratory 臨床検査
- \* Cardiology 循環器部門
- \* IT Infrastructure ITインフラストラクチャ
- \* Radiation Oncology 放射線治療
- \* 2008年度版 テクニカルフレームワーク + 日本版拡張

# IHE-J 2009 コネクタソン 概要

- \* 日程： 2009年10月26日(月)～30日(金)
- \* 場所： 東京都立産業貿易センター台東館
  - \* 地下鉄 浅草駅 下車徒歩5分
- \* 参加費：
  - \* 基本参加費： 10万円 / 社 (会員外:20万円)
    - 3年連続参加は半額免除
    - 5年連続参加は全額免除
  - \* システム参加費： 10万円 / システム (会員外:20万円)
- \* 支援参加の取扱いはいりません。

# コネクタソンの結果の公表

- \* 参加会社毎に、合格した統合プロフィール・アクタを明示した表で公表
- \* どの製品が対応しているかは統合宣言書により各社でしめしてください
- \* 結果表(PDFファイル)に統合宣言書掲載WEBのリンクを掲載します
  - \* 日本IHE協会のWEBサイトにも掲載可能です



# 統合宣言書へのリンク

(株)												
ズ	IS	●				●		●				●
テム						●						
ービス	IS	●				●		●				●
株)												
)	IS	●										
ポレイテッド		●	●				●		●			
テムズ(株)	IS			●	●				●		●	
システムズ(株)	IS	●					●		●			●
			●	●		●			●			●

ここをクリックすると



# 日本IHE協会の統合宣言書ページ



医療情報連携の仕組みを変える IHE

*Integrating the Healthcare Enterprise - Japan*



- ▶ English
- ▶ サイトマップ
- ▶ 会員向けサイト

> [トップ](#) > [行事・活動カレンダー](#) > [コネクタソン2008](#) > IHE 統合宣言書

- IHE 統合宣言書

IHE 統合宣言書は、各製品のIHE対応状況を宣言している文書です。  
ここでは、IHE-J2008コネクタソンに参加したベンダの内、10社の統合宣言書をご紹介します。  
下記の各社のURLから、ダウンロードをお願いします。

- ▶ [株式会社エイアンドティー](#)
- ▶ [富士通株式会社](#)
- ▶ [キッセイコムテック株式会社](#)
- ▶ [株式会社ラムテック](#)
- ▶ [日本光電工業株式会社](#)
- ▶ [株式会社商備システムズ](#)
- ▶ [株式会社ソフトウェア・サービス](#)
- ▶ [テクマトリックス株式会社](#)
- ▶ [東芝メディカルシステムズ株式会社](#)
- ▶ [東芝住薬医療情報システムズ株式会社](#)

(2009年4月7日現在)

- トップページ
- 日本IHE協会 概要
- 会員募集
- What's New
- 行事・活動カレンダー
- 初心者向け情報
- IHE-J 資料
- サクセスストーリー
- テクニカルフレームワーク
- コネクタソン
- 委員会議事録
- 企業の取り組み
- Q & A
- お問い合わせ

# 具体的な手順は

\* この後、渡辺さんから説明します。